



## 2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年11月9日

上場会社名 中道リース株式会社

上場取引所 札

コード番号 8594 URL <https://www.nakamichi-leasing.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 関 崇博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営主計室長 (氏名) 遠藤 龍二

TEL 011-280-2266

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年12月期第3四半期の業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	31,890	3.0	882	32.0	1,071	33.0	660	27.0
2022年12月期第3四半期	32,879	11.6	668	17.6	806	26.2	520	21.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	88.73	
2022年12月期第3四半期	70.07	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	152,089	10,658	7.0
2022年12月期	144,194	9,878	6.9

(参考)自己資本 2023年12月期第3四半期 10,658百万円 2022年12月期 9,878百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期				8.00	8.00
2023年12月期					
2023年12月期(予想)				7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	1.3	1,000	34.4	1,200	32.2	720	27.0	96.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期3Q	8,679,800 株	2022年12月期	8,679,800 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2023年12月期3Q	1,229,367 株	2022年12月期	1,247,095 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期3Q	7,442,479 株	2022年12月期3Q	7,419,697 株
-------------	-------------	-------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う制限が緩和され、経済活動の正常化が本格的に進んだ一方、ウクライナ情勢の長期化等による資源価格の上昇や金融資本市場の変動等、依然として予断を許さない状況が続いており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社は、営業部門の組織体制を一部変更し、新中期経営計画「NL Build-Up! 2023-2025」の基本方針に掲げた「質の向上」の実現を目指しスタートしました。その結果、当第3四半期累計期間における新規受注高は31,169百万円（前年同四半期比5.0%減、計画比4.8%増）となりました。

当第3四半期累計期間の売上高は、リース売上高は増加しましたが、割賦契約の大幅な減少等により31,890百万円（前年同四半期比3.0%減）となりました。売上高は減少しましたが、不良債権処理費用が当初想定していた見込額を大幅に下回り、また中古バス市場の好況により、新型コロナウイルス感染症の影響で支払猶予先に対し計上していた貸倒引当金の戻し入れが発生したこと等により営業利益は882百万円（同32.0%増）、経常利益は1,071百万円（同33.0%増）、四半期純利益は、賃貸用不動産の減損損失を97百万円計上し660百万円（同27.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。なお、各セグメントにおける売上高については「外部顧客に対する売上高」の金額、セグメント利益については報告セグメントの金額を記載しております。

#### [リース・割賦・営業貸付]

当セグメントの新規受注高は30,119百万円（前年同四半期比5.4%減、計画比5.4%増）、営業資産残高は111,391百万円（前期末比3.5%増）となりました。売上高は、リース売上高は増加しましたが、割賦契約の大幅な減少等により28,755百万円（前年同四半期比3.5%減）、セグメント利益は不良債権処理費用の減少等により609百万円（同108.9%増）となりました。

#### [不動産賃貸]

当セグメントの新規受注高は903百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業資産残高は18,282百万円（前期末比2.0%増）となりました。売上高は3,074百万円（前年同四半期比0.6%増）、セグメント利益は修繕費の増加等により802百万円（同5.7%減）となりました。

#### [その他]

当セグメントの新規受注高は147百万円（前年同四半期比69.7%増）、営業資産残高は366百万円（前期末比144.9%増）となりました。ヘルスケアサポート事業部のリース売上高の増加等により、売上高は61百万円（前年同四半期比128.1%増）、セグメント利益は29百万円（同34.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前期末比7,895百万円増加し152,089百万円となりました。これは主にリース投資資産並びに現金及び預金の増加によるものです。

負債合計は、前期末比7,115百万円増加し141,430百万円となりました。これは主に債権流動化に伴う長期支払債務及び長期借入金の増加によるものです。

純資産合計は、前期末比780百万円増加し10,658百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期の業績予想につきましては、第3四半期累計期間の業績を踏まえ、2023年2月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年11月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,251,638	9,490,782
割賦債権	24,953,998	22,836,187
リース債権及びリース投資資産	80,764,618	86,752,756
営業貸付金	259,343	339,173
その他の営業貸付債権	1,452,361	1,404,325
賃貸料等未収入金	2,602,755	2,946,099
その他の流動資産	810,354	1,002,497
貸倒引当金	△905,435	△742,364
流動資産合計	117,189,630	124,029,456
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	18,175,627	18,530,614
社用資産	52,121	51,069
有形固定資産合計	18,227,748	18,581,682
無形固定資産		
	89,841	95,327
投資その他の資産		
その他の投資	8,679,306	9,345,238
貸倒引当金	△68,348	△28,405
投資その他の資産合計	8,610,958	9,316,832
固定資産合計	26,928,547	27,993,841
繰延資産	75,654	65,520
資産合計	144,193,832	152,088,817
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	708,323	507,194
買掛金	3,802,199	4,156,254
短期借入金	2,770,000	2,070,000
1年内返済予定の長期借入金	34,085,657	35,094,201
1年内償還予定の社債	1,710,000	1,680,000
1年内支払予定の債権流動化に伴う長期支払債務	228,946	57,491
未払法人税等	221,909	91,799
役員賞与引当金	50,000	-
賞与引当金	106,192	95,881
その他の流動負債	2,360,057	2,378,366
流動負債合計	46,043,282	46,131,185

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>固定負債</b>		
社債	5,948,600	5,578,600
長期借入金	66,061,650	68,230,154
債権流動化に伴う長期支払債務	7,061,478	12,215,630
退職給付引当金	79,109	81,956
受取保証金	6,183,634	6,415,602
資産除去債務	1,035,279	1,063,508
その他の固定負債	1,902,655	1,713,826
<b>固定負債合計</b>	<b>88,272,405</b>	<b>95,299,276</b>
<b>負債合計</b>	<b>134,315,688</b>	<b>141,430,461</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,297,430	2,297,430
資本剰余金	2,137,430	2,137,430
利益剰余金	5,500,026	6,100,918
自己株式	△215,222	△213,005
<b>株主資本合計</b>	<b>9,719,665</b>	<b>10,322,773</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	158,480	335,583
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>158,480</b>	<b>335,583</b>
<b>純資産合計</b>	<b>9,878,144</b>	<b>10,658,356</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>144,193,832</b>	<b>152,088,817</b>

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	32,879,455	31,889,641
売上原価	30,244,712	29,289,323
売上総利益	2,634,743	2,600,317
販売費及び一般管理費	1,966,555	1,718,292
営業利益	668,188	882,026
営業外収益		
受取利息	485	400
受取配当金	15,991	16,913
投資事業組合運用益	7,452	20,139
匿名組合投資利益	144,879	192,334
償却債権取立益	1,251	73
その他の営業外収益	487	383
営業外収益合計	170,545	230,242
営業外費用		
支払利息	30,937	38,718
支払手数料	2,164	2,159
その他の営業外費用	2	1
営業外費用合計	33,102	40,878
経常利益	805,631	1,071,390
特別損失		
投資有価証券評価損	3,835	1,298
固定資産除売却損	4	-
減損損失	-	97,080
損害賠償金	30,000	-
特別損失合計	33,838	98,377
税引前四半期純利益	771,793	973,013
法人税、住民税及び事業税	364,304	302,519
法人税等調整額	△112,388	10,140
法人税等合計	251,916	312,659
四半期純利益	519,876	660,353

### (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、従業員に対する福利厚生サービスを目的として、受給権を付与された従業員に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

(1) 取引の概要

予め当社が定めた株式給付規程に基づき、当社の従業員が退職した場合に当該退職者に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に勤続や成果に応じてポイントを付与し、従業員の退職時に累積したポイントに相当する当社株式を給付します。なお退職者に対し給付する株式については、あらかじめ信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理しております。

(2) 「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)を適用しておりますが、従来採用していた方法により会計処理を行っております。

(3) 信託が保有する自社の株式に関する事項

信託における帳簿価額は、前事業年度119,931千円、当第3四半期会計期間117,677千円であります。信託が保有する自社の株式は、株主資本において自己株式として計上しております。

期末株式数は、前事業年度947,100株、当第3四半期会計期間929,300株であり、期中平均株式数は、前第3四半期累計期間960,150株、当第3四半期累計期間937,280株であります。期末株式数及び期中平均株式数は、1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の決算短信の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	リース・割賦 ・営業貸付	不動産賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,797,275	3,055,281	32,852,556	26,899	32,879,455	—	32,879,455
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	29,797,275	3,055,281	32,852,556	26,899	32,879,455	—	32,879,455
セグメント利益	291,691	850,642	1,142,333	21,446	1,163,779	△495,591	668,188

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケアサポート事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△495,591千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	リース・割賦 ・営業貸付	不動産賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,754,737	3,073,545	31,828,282	61,359	31,889,641	—	31,889,641
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	28,754,737	3,073,545	31,828,282	61,359	31,889,641	—	31,889,641
セグメント利益	609,240	802,369	1,411,609	28,845	1,440,453	△558,428	882,026

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケアサポート事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△558,428千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産賃貸」セグメントにおいて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において、97,080千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。